

令和3年度第2回射水市バリアフリー推進協議会会議録

1 開催日時

令和3年11月17日（水）午前10時30分～午前11時45分

2 開催場所

射水市役所2階会議室201・202

3 出席者

小柳津会長、中村委員、本江委員、木本委員、福田委員、茶山委員、釣谷委員、門田委員、山崎委員、砂原委員、石黒委員、小松委員（代理：景山氏）、長谷部委員、織田委員、小塚委員（代理：杉本）、小見委員、桜川委員、島崎委員

事務局 塩谷市民生活部次長、星野生活安全課長、保田生活安全課長補佐、北川主査、北川主事

4 欠席者

鷹西副会長、村田委員、大野木委員

5 議題及び協議概要

(1) 越中大門駅周辺地区バリアフリー基本構想（素案）について

（主な意見等）

- 立山町の駅周辺では土日にイベントを行うなど、若者が集まり活気があった。若者が集まるには高齢者も集う。駅周辺が活性化するように、ハード面だけでなく、ソフト面の取組も検討してほしい。
- 視覚障がい者にとって駅のホームは危険である。歩きスマホのマナーの啓発活動を継続的に行なってほしい。
- 射水市にある6つの障がい者団体の意見を聞く機会も設けてほしい。
- 越中大門駅のエレベーターの設置等の事業については、あいの風とやま鉄道が実施主体となり、令和4年度に基本設計、その後に詳細設計を行って工事に着手し、順調に進めば、令和7年度に完了する想定であるが、事業の実施に当たっては多額の費用を要するため、国や県、市の支援が必要となる。
- コミュニティバスの車両については、概ね低床車両になっているが、課題としては、車いすの方の乗降者にはどうしても時間がかかるため、ダイヤに遅れを生じることがある。車いすをご利用の際は、事前に連

絡いただけると、円滑な運行ができる。

- 現在整備中の越中大門駅前の道路については、両側歩道が5 mずつあり、公安委員会との協議が必要になるが、自転車歩行者道となれば、視覚的に分かるような方法も考えていく。また、車道は10 m、路肩は2 mあるので、バスが停車しても、問題なく乗用車が通過できると考えている。最後に、街路樹については、射水市の玄関口として、ふさわしい景観になるよう整備を進めていきたい。

(2) その他

特に意見等なし。